



「無駄」の中に隠された宝から学ぶ

錦江小学校長 上猶 誠

「教育は百年の計」と言われ、人が育つことの難しさと結果はすぐに求められるもので無いことを教えています。

成長（教育）の姿は、いつの時代も「過程の中にある葛藤や気づきからの学び」にあります。

つまり、人は、間違いや失敗・負けなどの避けたいと思う「無駄と思える寄り道」を経験してこそ、自分や他者や社会のより望ましい姿を見つめ、自立するものと考えます。

そして、その寄り道を許せる社会も必要で、そんな優しさや愛情に包まれながら、「人は人によって輝く」と思います。

これからも、たくさんの笑顔あふれる錦江校区コミュニティを目指し、大人も子どもも「無駄」の中に隠れた宝を見つけ、様々なことを学び、大いなる未来に向かって成長する姿を期待します。

子どもたちとのふれあい

11月7日（水）錦江小学校で、高齢者、地域の方等との、ふれあい活動を行いました。

体育館では、昔の遊びを1年生と高齢者クラブのみなさんとで行いました。お手玉やあやとり、メンコなどを楽しみました。校庭では6年生と校区の方々とグラウンドゴルフをしました。午後からは、日頃子どもたちと関わりをもつ皆さんと、各教室に入り子どもといっしょに給食をいただきました。（青少年育成部）



第1回まちづくり準備委員会の開催

第1回及び第2回の交流会の協議を受けて、前回に出された様々な提案について精査を行いました。

地域の皆さんが楽しく集える新たなまちづくり事業の取り組みをどのように作り上げていくか具体的事業例を出しながら話し合いがなされました。



その結果、「コミュニティ協議会や各地域での行事を一本化して、事業所・団体の行事計画に取り入れ、参加可能型を検討したらどうか」また、「校区の事業所の業務内容をアピールして、各行事の際、展示・即売会を催して住民が関わる事業所にしてほしい」、「コミュニティだよりに、事業所紹介等してほしい」、「文化祭へ異国文化交流を取り入れたてはどうか」などの提案がありました。次はこれらの意見等を参考に具体的な事業の絞り込みを進めていくことにしています。（総務部）

第10回 錦江校区文化祭

11月10日・11日、公民館で文化祭を開催しました。今年は、135人の方から197点が出品されました。多種多様なジャンルから素晴らしい作品が並び、見学された皆さんが感嘆されていました。成人講座で学んだ方々の作品は、受講すればよかったと思わせる出来栄でした。また、加治木養護学校とあいら幼稚園、錦江小学校の子どもたちの作品も展示していただきました。出品される方が一人でも多くなり、みんなの文化祭になっていけばいいなと思っています。(生涯学習部)



校区ミニバレーボール大会

11月4日、加治木体育館において、錦江校区のミニバレーボール大会が開催されました。校区独自の試合方法で行い、各地区の代表が熱戦を展開しました。その結果、優勝は西江口団地、準優勝は岩原南でした。

この両チームは、市教委主催の校区対抗スポーツ大会にも校区の代表として参加していただきました。また、ペタンクには錦江サロンチームが参加しています。(健康福祉部)



錦江小学校のプール浄化作業について

この事業は、小学校・生活学校・錦江校区コミュニティの三者の協力で行う事業です。

EM菌の水を浄化する作用を利用して、プール内に投入する。コケ類の発生、悪臭の防止し、そのプールの水の排水（活性液を含んだ水）により、塩入川及び須崎調整池等の浄化にもなるものです。

第1回目は、10月27日に、米のとぎ汁を、2リットルのペットボトル180本を、小学生6名と生活学校の方々、関係者でEM菌活性液を作り、2週間ほどしてプールに投入しました。

第2回目は、3月23日(土)に、EM菌活性液作りを実施いたします。4月6日(土)に、プールへ投入します。

とぎ汁、2リットルを集めないといけません。ご協力をお願いします。(環境安全部)



第4回 健康・体力UPの集い

3月10日(日)9時半～ 錦江第2地区にて実施
中・高年(40歳以上)を対象に医療に頼らない健康・体力の維持増進を図ることを目的とする事業です。

錦江校区コミュニティ協議会へのお問い合わせは

TEL 73-6351(月・水・金)

発行責任者 加治屋昭弘